

ボタンの機能(対局、観戦画面)

対局、観戦画面中央の縦に22個のボタンが並んでいます。

1.



- 1.[先頭局面へ]
- 2.[10手戻る]
- 3.[一手戻る]
- 4.[一手進めるむ]
- 5.[10手進める]
- 6.[終端へ]
- 7.[実戦]

- 8.[総譜表示]
- 9.[盤面回転]
- 10.[座標]
- 11.[自動再生]
- 12.[環境設定]

- 13.[前の会話]
- 14.[次の会話]

- 15.[参考図作成]
- 16.[参考図表示]
- 17.[参考図表示]
- 18.[参考図表示]
- 19.[参考図表示]
- 20.[参考図表示]

- 21.[入室者一覧表示]

- 22.[局面移動バー]

1.~7.のボタンを使用して局面を移動します。
7.[実戦]ボタンは、観戦時に実戦の局面へ移動するボタンです。

8.[総譜表示]
石に番号を付けたり消したり切り替えます。
9.[盤面回転]
碁盤を180度回転します。
対局相手から見た碁盤を表示します。

10.[座標]
碁盤の側面に座標を表示します。

11.[自動再生]
棋譜鑑賞時に着手を自動再生します。
自動再生の秒数は、「環境設定」→「その他」で変更します。

12.[環境設定]
このボタンは重要なボタンです。
碁盤の色、碁石の種類、その他、サンサンで使用する詳細に関して設定します。
サンサン接続時の初期画面の左上[設定]→[環境設定]と同じ内容です。

13.[前の会話]

14.[次の会話]
対局中のチャットがあれば、前のチャット、次のチャットのある局面へ移動します。
同様に「参考図」があれば、参考図のある局面へこのボタンで移動します。

15.[参考図作成]
このボタンで参考図を作成し送信します。

16.~20.[参考図表示]
参考図があれば、これらのボタンが点灯します。

21.[入室者一覧表示]
この対局室に入室している対局者と観戦者の表示・非表示を切り替えます。

22.[局面移動バー]
このスクロールバーで局面を移動できます。
頭の数字は現在の手数です。

5.

6.

10.

11.

15.

16.

20.

21.